

書写のすすめ

水田悦子

私の教室へ通ってくる生徒さんは、皆、熱心で、その努力する姿には、いつも感心させられます。クラブを終え、重いカバンをかかえて、やってくる中学生も、疲れを言い訳に手抜きなど一切せず、ただひたむきに書いて帰ります。好きだからと言え、それまでですが、書写には何か、底知れぬ魅力があるようで、年々落ち着き、しつかりとしていく様子を見ていると、一画一画を丁寧に書くことは、日々の生活そのものも大切にし、心豊かに暮らすことに繋がるのだと思うようになりました。技術を磨く過程の中で、粘り強さや自ら創造する力が身につくのは、もちろんですが、書の世界の精神性を持った独特の雰囲気も、又、心を深く育てる要素なのかも知れません。

潤いのある豊かな人生を送る道の一つとして、日本の伝統文化である書写の時間を、ぜひ、お子様に与えて下さいますようお願い致します。